

帯広市立栄小学校 学校便り

さかえ



平成 29 年 8 月 22 日 校長 木下 剛

【H. 29 学校経営の重点】

『明日(未来)へつなぐ』
～質の高い日常実践を通して～

【キャッチフレーズ】

★はげめ 勉強！

★ひびけ 挨拶！

★みがけ 清掃！

★ 体育館には元気な顔、顔、顔！ 2学期がスタートしました ★

8月18日(金)、朝の玄関前は開錠を待ちわびた子ども達でいっぱいでした。手には作品や学習用具などを持ち大変そうでしたが、顔はいつもより何かしらうれしそうに見えました。

子ども達は開錠と同時に教室へ大急ぎで向かい、待ち構えていた先生と大きな声であいさつを交わします。そして、次から次へと友達が登校し、ワイワイガヤガヤ、教室が一気ににぎやかさを増し、学校がいつもの光景に戻りました。

2時間目は始業式と始まりの会(集会)を行いました。

わずか24日間だったにもかかわらず、子ども達の体がひとまわり大きくなったように感じました。426名の児童が一堂に会し、校歌を歌ったり校長の話の聞いたりする光景を見ると、学校が動き出したことが改めて実感されます。始業式では、以下の3点について話しました。



① 『しっかり勉強！』

学校は勉強するところ。

家で勉強するのも当たり前。

TVやゲームのスイッチを消して家庭学習。

② 『明るい挨拶、元気な返事、ぼかぼか言葉！』

自分から明るいあいさつ。

名前を呼ばれたら元気に返事。

やさしい言葉づかい、ぼかぼか言葉。

特に高学年の行動(活躍)に期待する。



③ 『何をするにも ていねいに！』

きまりやルールを守ることは当たり前。

生活をもっと良くするのに大切なのが

“何をするにもていねいに”

例えば・ノートの文字・話を聞く態度

・廊下の歩き方・大人への話し方

・牛乳パック洗い・下駄箱の靴

・トイレの使い方・無言整列

など、たくさん考えられます。



さて、2学期も児童一人一人が心身ともに逞しく成長する、まさに「実りの秋」になるよう教職員一同、温かさと厳しさを織り交ぜて指導して参りますので、一層のご支援・ご協力をお願い致します。

また、北海道教育の最大の課題ともいえる『学力向上』への取組については、各ご家庭の協力があるからこそ効果が表れるものと考えています。つきましては1学期同様、『望ましい生活習慣・学習習慣の確立』に向けた指導及び声掛けをよろしくお願い致します。

作品展

《開催中》

◆とき：8月21日(月)～25日(金)

◆場所：1階多目的室・廊下

24日間という長い期間を利用して、普段はなかなか取り組めない作品作りに子ども達はチャレンジしてきました。どの作品にも一人一人の努力の跡がうかがえるものばかりです。お父さんやお母さんの協力のもと仕上げたであろう1・2年生の作品や自由研究という形で調査研究の成果をまとめた中学年や高学年の作品など、それぞれの学年に相応しい内容の成果物が今、展示されています。

つきましてはお忙しいこととは存じますが、上記期間中にご来校の折には、子ども達の力作をぜひご覧ください。そして、学年が上がるとともに進化する作品を目の当たりにし、今後の参考にさせていただければと思います。ご来校をお待ちしております。



1, 3, 5年のテーブルと自由研究を一部紹介(写真)しました。